

民俗芸能 大野ぎおんばやし

＝北斗市 無形民俗文化財＝

- ・所在 公民館内
- ・所有者 大野ぎおんばやし保存会
(昭和57年2月12日)

豊年を祝う神楽で、京都から北前船で享保年間(1716～35)に伝えられたと推定。

意富比神社の氏子や青年らによって傳承され、祭典の山車から演じられた。

昭和11年(1936)、NHK函館放送局からラジオ放送され広く知れ渡った。

同54年、「大野ぎおんばやし保存会」が結成され、傳承活動が続いている。

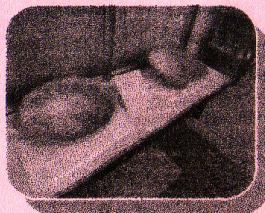


考古資料 越前すり鉢 2点

＝北斗市 有形文化財＝

- ・所在 郷土資料館 ・所有者 教委
- ・指定 (平成16年6月22日)

昭和58年(1983)、市渡の畑から2個見つけた。15世紀、北方交易船で運ばれた越前焼すり鉢である。



美術絵画 絵図

＝北斗市 有形文化財＝

- ・所在 郷土資料館 ・所有者 教委
(昭和57年2月12日)

○大野村(後幕領時代) 安政年間(1854～59)のものと推定。田畑、本陣屋敷、道路、大野川など記載。

○大野村(明治3年) 後幕領時代のものとほぼ同じ。七飯方面の山なども記載。

○市渡村 明治2年の地勢図。田畑、道路、用水、大野川など記載。

美術彫刻 鶺山道石版画

＝北斗市 有形文化財＝

- ・所在 郷土資料館 ・所有者 教委
(昭和57年2月12日)

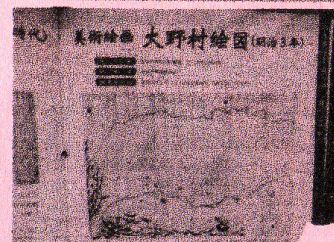
明治18年(1885)、鶺山道(江差山道)の工事が着手され翌年開通した。

同19年の工事中、道長官永山武四郎、函館県令時任為基が視察した際、随行した画家澤田雪溪が官命で描いた石版刷りのもの。

第一景の市渡村に始まって江差へ至る45景である。視察に来た人の乗り物、服装が確認でき、工事の様子、旧道、旅籠屋なども捉える事ができる。

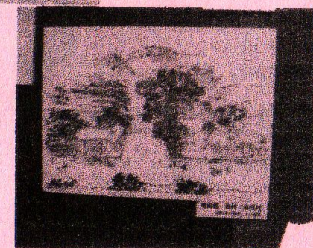
北海道・北斗市(大野地区)

指定文化財



より
市の文化財
村絵図「北斗」

鶺山道石版画
(コピー)



「開拓使三角測量一本木基点」と「北海道水田発祥の地及び記念碑」以外は平成18年2月1日北斗市指定に移行、()は大野町指定

大野文化財保護研究会

(略称；文保研・ぶんぼけん)

2010年5月